

新任保育士に寄り添った伴走型の支援を開始します！

－ 海外での幼児教育経験がある主任保育教諭が専属に！ －

全国的に保育士が不足しており、保育士人材を確保するためには、新任保育士が安心して保育士としての第一歩を踏み出すことができる環境づくりが求められています。

燕市では、これまで保育士確保のため、修学資金貸与制度、奨学金返還補助金制度の新設による経済的負担の軽減やICT化などの保育職場の環境改善を推進してきました。

今年度からは、公立園の保育士育成支援を目的として保育や校長経験者、主任保育教諭による4名の人材育成支援チームを4月に立ち上げ、専門的な経験から総合的にサポートしています。加えて、専任の主任保育教諭が定期的に保育現場に入り、新任保育士の日常の悩みを聞いたり、子どもや保護者との関わり方などを伴走型で支援したりする取り組みを4月からスタートし、保育幼児教育の質の向上に努めています。

【人材育成支援チーム】

- 1.目的：保育幼児教育の質の向上を図るため、支援チームを体系的に組織し、公立園における職員の資質・能力の向上を目指す。
- 2.チームメンバー：4人（専任3名、兼任1名）
（幼稚園副園長経験者、小学校長経験者、主任保育教諭、保育園園長）

【新任保育士の伴走型支援】

- 1.伴走者：主任保育教諭（R4～5年 JICA 海外青年協力隊でスリランカの幼稚園で幼児教育の推進、普及、定着に関わる活動に従事）
- 2.支援内容：定期的に公立保育園等を訪問し、日常の悩みを聞いたり、保育のアドバイスをしたりするなどのサポートを行います。
- 3.訪問数：新任保育士4名の勤務園に年間延べ50回程度訪問
訪問支援の一例
《午前中》新任保育士等のクラスに入り伴走型の支援活動
《降園後》新任保育士と一日の保育活動の振り返り
（子どもたちの遊び方や保護者との関わり方、書類作成など）



※伴走型支援の様子について、以下の日程で取材対応が可能です。 [訪問支援の様子]

日時等：6月4日（水） 9：30～ 燕こども園遊戯室（燕市白山町 1-9-15）

内容：新任保育士が担当する1歳児クラスの園活動のアドバイスをを行います。



本件についてのお問い合わせ先
こども政策部 こども未来課：大坂・丹治
電話：0256-77-8222（直通）